

<経緯等>

- 調査票の評価項目については、各臨床研修病院においてより質の高い充実した研修が実施されるよう、医療を取り巻く環境の変化などを踏まえて、毎年設定している。



令和8年度研修開始分に係る評価項目変更（案）

- ①R6.4月から改正医療法が施行（医師の時間外労働時間の上限規制の適用、追加的健康確保措置の義務付）されたことに伴い、**必須項目「医師の働き方改革」の考え方を以下のとおり変更**

【変更前】

考え方
研修医の勤務実態把握ができていますこと【必須】



【変更後（案）】

考え方
研修医の勤務実態を把握するとともに、必要に応じ医療法に定める面接指導の実施や就業上の措置を講じていること。また、特定労務管理対象機関について、勤務間インターバル・代償休息を確保していること。【必須】

<その他の修正>

- ②評価項目「医療安全に関する研修」の考え方について、「研修医からのインシデントレポート提出件数（年間**5件**→**10件**／研修医1人あたり）」に変更したうえで、2次審査項目から**1次審査項目**に変更（令和5年度第3回医療対策協議会で了承済）
- ③評価項目「感染症法に基づく「医療措置協定」締結」の考え方について、**締結予定**→**締結していること**に変更
- ④評価項目「分娩件数」の考え方に、補足説明（**産婦人科研修を行っている協力型臨床研修病院及び協力施設の件数を含む**）を追加（考え方は変更なし）

## 調査票の評価項目案（令和8年度研修開始分）

調査項目	調査内容	考え方	1次 審査	2次 審査
必須事項	過去3年間のマッチング状況	3年間のうち2年以上募集定員を全て採用していること（採用予定者が医師国家試験不合格により採用数が募集定員に満たない場合を除く）【必須】	○	○
	感染症法に基づく「医療措置協定」締結	協定締結していること		
	医師の働き方改革	研修医の勤務実態を把握するとともに、 <b>必要に応じ医療法に定める面接指導の実施や就業上の措置を講じていること。また、特定労務管理対象機関について、勤務間インターバル・代償休息を確保していること。</b> 【必須】		
	病床の再編・統合・転換等	病院の再編統合時における過剰病床への転換を進めていない【必須】		
マッチング	前年度希望順位登録者数	募集定員の3倍以上	○	
指導体制	指導医数（必須科目及び選択必須科目毎）	産婦人科・小児科・救急科の複数配置	○	
	一般外来研修内容・日数	記載内容を評価・研修日数が30日以上	○	
	地域医療の推進に向け工夫・配慮している点	記載内容を評価		○
	分娩研修	施設当たり350件又は研修医1人あたり10件以上（実績を示せるものに限る）（産婦人科研修を行っている協力型臨床研修病院及び協力施設の件数を含む）	○	
	医療安全	研修医からのインシデントレポート 提出件数（年間10件／研修医1人あたり）	○	
	研修の進捗状況の管理方法	PG-EPOC・研修医手帳と独自の評価方法の組合せ	○	
研修環境	評価の方法（評価体制（職種）・方法）	多職種（看護師含む複数）、外部及びその他（患者含む）の評価を実施	○	
	第三者評価（卒後臨床研修評価機構）	卒後臨床研修評価機構の認定	○	
	その他の臨床研修に係る第三者評価の認定状況	日本医療機能評価機構などの認定		○
	卒後臨床研修評価試験の受験	1年次及び2年次の受験	○	
	学会発表件数（地方会以上）	年1件/人以上	○	
自由記載	CPC研修内容・剖検症例件数	記載内容を評価・年1件/人以上		○
	アピールポイント	記載内容を評価		○
その他	新型コロナウイルス感染症など新興感染症に関する知識の向上に向けた取組み	記載内容を評価		○
地域偏在	医師不足地域・高齢化率	北河内・中河内・南河内・堺市・泉州の各二次医療圏に所在すること	○	

## (参考) 令和7年度研修開始分 最終配分調整の評価項目

調査項目	調査内容	考え方	1次 審査	2次 審査
必須事項	過去3年間のマッチング状況	3年間のうち2年以上募集定員を全て採用していること（採用予定者が医師国家試験不合格により採用数が募集定員に満たない場合を除く）【必須】	/	
	<b>感染症法に基づく「医療措置協定」締結</b>	協定締結を予定していること		
	<b>医師の働き方改革</b>	研修医の勤務実態把握ができていること【必須】		
	病床の再編・統合・転換等	病院の再編統合時における過剰病床への転換を進めていない【必須】		
マッチング	前年度希望順位登録者数	募集定員の3倍以上	○	
指導体制	指導医数（必須科目及び選択必須科目毎）	産婦人科・小児科・救急科の複数配置	○	
	一般外来研修内容・日数	記載内容を評価・研修日数が30日以上	○	
	地域医療の推進に向け工夫・配慮している点	記載内容を評価		○
	<b>分娩研修</b>	施設当たり350件又は研修医1人あたり10件以上（実績を示せるものに限る）	○	
	<b>医療安全に関する研修</b>	<b>記載内容を評価（例：研修医からのインシデントレポートの提出件数（年間5件／研修医1人あたり））</b> ※令和8年度研修開始分以降、「研修医からのインシデントレポート提出件数（年間10件／研修医1人あたり）」に変更したうえで、2次審査項目から1次審査項目に変更予定		○
	研修の進捗状況の管理方法	PG-EPOC・研修医手帳と独自の評価方法の組合せ	○	
	評価の方法（評価体制（職種）・方法）	多職種（看護師含む複数）、外部及びその他（患者含む）の評価を実施	○	
研修環境	第三者評価（卒後臨床研修評価機構）	卒後臨床研修評価機構の認定	○	
	その他の臨床研修に係る第三者評価の認定状況	日本医療機能評価機構などの認定		○
	卒後臨床研修評価試験の受験	1年次及び2年次の受験	○	
	学会発表件数（地方会以上）	年1件/人以上	○	
	CPC研修内容・剖検症例件数	記載内容を評価・年1件/人以上		○
自由記載	アピールポイント	記載内容を評価		○
その他	新型コロナウイルス感染症など新興感染症に関する知識の向上に向けた取り組み	記載内容を評価		○
地域偏在	医師不足地域・高齢化率	北河内・中河内・南河内・堺市・泉州の各二次医療圏に所在すること	○	